

1-2 事業活動収支計算書関係比率・消費収支計算書関係比率（大学部門） ※私立大学のみ

（表7）

	比率	算式(*100)①*注2	算式(*100)②*注2	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	備考
1	人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{帰属収入}}$	$\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$	% 39.7	% 39.7	% 38.1	% 37.6	% 37.0	2011年度：退職給与引当金特別繰入額(*大学注)を除いた場合37.6%
2	人件費依存率	$\frac{\text{人件費}}{\text{学生生徒等納付金}}$	$\frac{\text{人件費}}{\text{学生生徒等納付金}}$	50.6	51.2	50.3	48.8	47.3	2011年度：同上47.9%
3	教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{帰属収入}}$	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{経常収入}}$	45.2	45.5	48.1	49.1	47.8	
4	管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{帰属収入}}$	$\frac{\text{管理経費}}{\text{経常収入}}$	14.9	14.8	14.3	12.8	12.3	
5	借入金等利息比率	$\frac{\text{借入金等利息}}{\text{帰属収入}}$	$\frac{\text{借入金等利息}}{\text{経常収入}}$	0.6	0.2	0.2	0.1	0.1	
6	事業活動収支差額比率 (帰属収支差額比率)	$\frac{\text{帰属収入}-\text{消費支出}}{\text{帰属収入}}$	$\frac{\text{基本金組入前当年度収支差額}}{\text{事業活動収入}}$	-0.4	-0.4	-0.8	0.3	2.8	2011年度：同上1.7%
7	事業活動収支比率 (消費支出比率)	$\frac{\text{消費支出}}{\text{帰属収入}}$	$\frac{\text{事業活動支出}}{\text{事業活動収入}}$	100.4	100.4	100.8	99.7	97.2	2011年度：同上98.3%
8	基本金組入後収支比率 (消費収支比率)	$\frac{\text{消費支出}}{\text{消費収入}}$	$\frac{\text{事業活動支出}}{\text{事業活動収入}-\text{基本金組入額}}$	149.5	102.1	102.7	103.5	99.1	2011年度：同上146.4%
9	学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{帰属収入}}$	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{経常収入}}$	78.4	77.6	75.8	77.1	78.3	
10	寄付金比率	$\frac{\text{寄付金}}{\text{帰属収入}}$	$\frac{\text{寄付金}}{\text{事業活動収入}}$	0.3	0.6	0.5	0.3	0.3	
11	経常寄付金比率	—	$\frac{\text{教育活動収支の寄付金}}{\text{経常収入}}$	/	/	/	/	0.3	
12	補助金比率	$\frac{\text{補助金}}{\text{帰属収入}}$	$\frac{\text{補助金}}{\text{事業活動収入}}$	9.5	10.9	11.7	11.9	11.0	
13	経常補助金比率	—	$\frac{\text{教育活動収支の補助金}}{\text{経常収入}}$	/	/	/	/	10.9	
14	基本金組入率	$\frac{\text{基本金組入額}}{\text{帰属収入}}$	$\frac{\text{基本金組入額}}{\text{事業活動収入}}$	32.9	1.7	1.9	3.7	1.9	
15	減価償却額比率	$\frac{\text{減価償却費}}{\text{消費支出}}$	$\frac{\text{減価償却額}}{\text{経常支出}}$	11.6	11.8	11.5	11.4	7.6	2011年度：同上11.8%
16	経常収支差額比率	—	$\frac{\text{経常収支差額}}{\text{経常収入}}$	/	/	/	/	2.9	
17	教育活動収支差額比率	—	$\frac{\text{教育活動収支差額}}{\text{教育活動収入計}}$	/	/	/	/	2.2	

[注]1 「学校法人会計基準」に基づく財務計算書類中の事業活動収支計算書・消費収支計算書（大学部門）を用いて、表に示された算式により過去5年分の比率を記入してください。

2 2014（平成26）年度以前については、算式①を用いて、2015（平成27）年度以後については、算式②を用いて、比率を算出してください。

3 日本私立学校振興・共済事業団に提出している数値を記載してください。

[大学注]

1 退職給与引当金特別繰入額は、「退職給与引当金の計上等に係る会計方法の統一について」（平成23年2月17日付け22高私参第11号文部科学省高等教育局私学部参事官通知）に基づく変更時差異について繰入れた額で、2011年度に一括計上しています。